

## 選択制ワークショップについて

ワークショップは選択制(先着順)になります。  
申込時に【A】または【B】、希望される講座を選択してください。

※各講座定員があります。お申し込み時に選択いただいた場合でも、希望の講座が定員に達した場合は、もう一つの講座にご参加いただくことになります。あらかじめご了承ください。  
※ご参加いただく講座が決まりましたら、事前に事務局よりメールでご案内いたします。

## 申込・入金方法

参加費の入金をもって申し込みの完了とします(先着順)

申込  
開始

2026年5月22日(金)  
12:00

下の二次元コードからお申し込みください。

JPIC 🔍 「JPIC」で検索

※yomikikase@jp Pic.or.jp  
からのメールを受信できるように  
設定をお願いします。



入金  
締切

2026年6月25日(木)  
12:00

お申し込み直後に[JPIC ONLINE]の  
支払いページに移行しますので、参加  
費の入金手続きをお願いします。同時に  
「受付完了」メールを自動送信いたしま  
す。メールが届かない場合は、下記問い  
合わせ先までご連絡ください。

※グループ・個人参加に関わらず、お申し込みはおひとりずつお願いします。  
※入金締め切り後も残席がある場合は申し込みを受け付けます。  
※入金の確認が取れましたら、開催2週間前までに当日の詳細をメールにてご案内します。

[中止・欠席について] 感染症や荒天などの理由により、延期もしくは中止となる場合がございます。参加者のみなさまには、直接メールにてお知らせします。ホームページにも記載いたしますのでご確認ください。体調不良など、参加者ご自身の都合により欠席された場合は、後日配布教材をご自宅へお送りいたします。欠席のご連絡は不要です。参加費は返金いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

### お問い合わせ

一般財団法人 出版文化産業振興財団(JPIC)「子どもの読書 みらいフォーラム」係  
E-mail yomikikase@jp Pic.or.jp

2026年度

本を届ける人が学ぶ2日間

# JPIC 子どもの読書みらい フォーラム



日程 7月25日(土)  
26日(日)

会場 出版クラブビル  
東京都千代田区神田神保町1-32

➤ | 対象 子どもの読書に関心のある方

➤ | 定員 各日100名程度

➤ | 参加費 1日参加：3,000円(税込)  
(25日または26日)  
両日参加：5,000円(税込)  
事前申込・入金制(先着順)

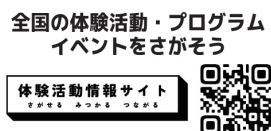
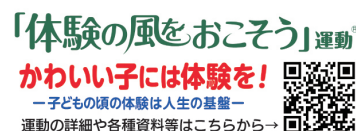
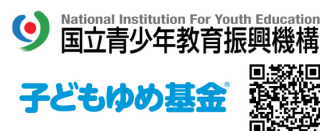
参加者全員に  
『この本読んで!』最新号(2026夏・99号)  
を配布します!



おはなし会をひらこう  
Folio-101 早稲田大学  
大特集 おはなし会を開こう!

本活動は、「子どもゆめ基金」の助成活動です。国立青少年教育振興機構は、子どもたちの成長に必要な体験活動や読書活動を推進するため、「体験の風をおこそう」運動や「早寝早起き朝ごはん」国民運動にも取り組んでいます。

本活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。



お申し込みは  
こちら





子どもと本に関わるすべての方を対象に、子どもの読書について考え、語り合うフォーラムを2日間開催します。

子どもの発達段階に合った本の選び方・手渡し方、

そしてひとり読みへとつなげる力を育てる環境づくりについて、多彩な講師陣から学びます。

子どもたちに読むことの楽しさを届けるために、ともに学び、つながる時間を過ごしませんか？



1日目 7月25日(土)

10:10 開会

10:25 基調講演  
とよたかずひこ  
(絵本作家)

11:50

12:50 対談  
家庭・学校・地域でつくる  
子どもの読書

白坂洋一  
(筑波大学附属小学校 国語科教諭)

田口幹人

(読書の時間 理事長)

14:00

14:15 ワークショップ  
読書の楽しさを広げよう[選択制]\*

[A] 絵本をじっくり読む(ロングセラー絵本を中心に)

安富ゆかり\*

[B] 読書バリアフリーを知る

矢部 剛

(新宿区立戸山図書館 館長)

16:00 \*ワークショップの選択については裏面をご覧ください。

16:10 ディスカッションタイム

16:50

都合によりプログラムが変更になる場合があります。

(敬称略)



とよたかずひこ

宮城県生まれ。イラストレーターを経て長女の誕生をきっかけに絵本作家となる。1998年『でんしゃにのって』(アリス館)で厚生省中央児童福祉審議会児童文化財特別推薦を受け、2002年『どんどこももんちゃん』(童心社)で第7回日本絵本賞、2017年に紙芝居『ぞうさんきかんしゃ ぼっぼぼっ』(童心社)で第56回高橋五山賞を受賞。その他の作品に「ワニのバルボン」シリーズ(アリス館)、「ぼかぼかおふる」シリーズ(ひさかたチャイルド)、「おいしいもだち」シリーズ(童心社)などがある。紙芝居作品も多数。

しらさかよういち  
白坂洋一

1977年、鹿児島県生まれ。全国国語授業研究会会長。著書に『子どもを読書好きにするために親ができること』『この1冊で身につく!一年生の国語読解力』(ともに小学館)など。

たぐちみきと  
田口幹人

1973年岩手県生まれ。盛岡市の「第一書店」勤務を経て、実家の「まりや書店」を継ぐ。同店を閉じた後、盛岡市の「さわや書店」に入社、同社フェザン店統括店長に。地域の中にかに本を根づかせるかをテーマに活動し話題となる。2019年に退社、(合)未来読書研究所の代表に。楽天ブックスネットワークが提供する少数卸売サービス「Foyer」を手掛ける。著書に『まちの本屋』(ポプラ社)など。

やべたけし  
矢部 剛

(公財)伊藤忠記念財団職員。児童館館長を経て、電子図書普及事業部長としてマルチメディアDAISY図書(わいわい文庫)の普及を担当。退職後、新宿区立戸山図書館長に就任。障害者を対象としたイベントや図書館利用にも細々と取り組んでいる。

2日目 7月26日(日)

10:00 パネルディスカッション  
子どもと本をつなぐ現場から  
ファシリテーター  
児玉ひろ美\*

パネリスト  
松井恭子\*

市川雅子\*

11:30

12:30 ワークショップ  
本を届ける担い手として[選択制]\*

[A] 実践・読みきかせ

豊嶋さおり\*

[B] ひとり読みにつなげる 本の手渡し方

松本真裕美\*

14:15 \*ワークショップの選択については裏面をご覧ください。

14:25 特別講演  
小宮 由

15:55

(翻訳家/家庭文庫主宰)

15:55 閉会

都合によりプログラムが変更になる場合があります。

(敬称略)



小宮 由

1974年、東京生まれ。2004年より東京・阿佐ヶ谷で家庭文庫「このあ文庫」を主宰。主な訳書に『そんなうそだ!』(岩波書店)、『イワンの馬鹿』(アノニマ・スタジオ)、「このころのほんばこ」シリーズ(大日本図書)など多数。実家は、熊本・西原村の児童書専門店「竹とんぼ」。祖父は、トルストイ文学の翻訳家であり、良心的兵役拒否者である故・北御門二郎。

JPIC読書アドバイザー

(一財)出版文化産業振興財団(JPIC)が主催している「JPIC読書アドバイザー養成講座」の修了生。全国各地で本と読書に関するさまざまなことに助言・提言し、読書推進活動をおこなっている。

★マークの方は全てJPIC読書アドバイザーです。



【これまで開催した関連講座の講演会・講座の様子】

